

令和元年10月25日

福井県高等学校教育問題協議会会長 様

福井県教育委員会

高等学校教育問題について（諮問）

下記の事項について、別紙理由を添えて諮問します。

記

今後の県立高等学校の魅力化の方策について

## 諮 問 理 由

平成20年の県高等学校教育問題協議会の答申を受け、県教育委員会では、奥越地区、若狭地区、坂井地区、丹南地区において高校再編を行い、県内で4校（予定を含む）の総合産業高校を設置し、多様化した社会や生徒のニーズに対応した職業教育を行っている。

この先10年を見通せば、中学3年生が現在よりも約1,000人減少し、来年度からは私立高校の無償化枠が拡大するなど、県立高校を取り巻く環境は大きく変化することになる。前回の答申で求められた、望ましい学校の規模としての「1学年4学級以上」について、再編により実現はしたものの、再びその維持が困難な高校が想定される状況となっている。

現在、人工知能や先端技術の発達により遠隔授業や個別最適化学習など、一人一人の能力・適性等に応じた学び、やりたいことを深められる学びをこれまでとは違う方法で提供可能な状況になっている。同時に、地域との協働など、実際に触れ、関わり合う中で探究的な学びを実現することが求められている。

については、高校で学ぶ全ての生徒にとって魅力ある高校づくりを推進するため、今後の県立高等学校の在り方について、次の事項を中心に、十分かつ慎重な検討をお願いしたい。

### 【検討事項】

- ・地域の学校としての普通科系高校の魅力化の方向性について
- ・地域を支える人材を育成する職業系高校の魅力化の方向性について